



神戸大対大阪公立大戦 概要

[日時]: 2023年6/18(日) 10:30a ~ 三商大戦 神戸大対大阪公立大戦

[場所]: @大阪公立大学杉本キャンパスグラウンド (人工芝) 晴天

[戦績&概要]: 40分ハーフ。26-31 (前半 0-19, 後半26-12) ●敗戦

		神戸大	公立大
前半	T	0	15
	G	0	4
	P	0	0
	DG	0	0
	計	0	19
後半	T	20	10
	G	6	2
	P	0	0
	DG	0	0
	計	26	12
合計		26	31

S(スクラム), M(モール), KO(キックオフ), TK(タッチキック), BD(ブレークダウン), MB(マイボール), YB(ヤンボール), DT(ダイルクトタッチ), LO(ラインアウト), MBPK(マイボールハーフアルティキック), YBPK(ヤンボールハーフアルティキック), YBTK(ヤンボールタッチキック), MBTK(マイボールタッチキック), P(ハーフアルティ), DO(ドロップアウト), TF(スローフォワード), TO(ターンオーバー), NS(ノットストレート)

- **総評:**
- 前半は公立大の勢いに吞まれ、神戸大メンバーはボールが手に付かず、スクラムは劣勢で0-19と引き離された。後半メンバー交代と共に落ち着きを取り戻し、上位リーグの動きが出来、後半だけで26点獲得へ。が、前半と後半序盤の失点が大きく敗戦となった。
 - 公立大は前半から大学院生を7名も投入し、加えて応援団の数も20名弱、最初から本気で勝ちに来ていた。一方、神戸大は本年新入部員が13名入部するも部員に怪我人が多く、先発15名リザーブ5名 計20名を揃えるのがやっとで、23名の選手枠を埋められなかった。試合前から見劣る戦力を如何に克服し勝利へつなぐかの知恵が求められる。→ **三商大戦は記録が残る定期戦。必勝の心構えで臨む事。**

神戸大体重			
	12/17/22	6/18/23	体重差
FW	261Kg	265kg	+4kg
3人	433kg	431kg	▲2kg
5人	667kg	663kg	▲4kg
平均体重	83.4kg	82.9kg	▲0.5kg
最大体重	99 kg	100kg	
平均身長	176.8cm	174.3cm	▲2.5cm
最高身長	183 cm	187cm	

- 左表は昨年12月のスクラムとの比較。今年も怪我人が癒えずフォーメーションに苦勞し、前8人平均体重は▲0.5kgと更に状態は悪化しており、昨年からFW体格面での成長が無く残念。幸いFWの1回生が入部し対人スクラム練習が辛うじて可能に。数年来言及の**スクラムの強化は急務**。スクラムコーチ就任もあり今後の改善と成長を期待したい。
- 味方ゴール前、敵ラインアウト時のラインアウトモール防御が甘く、先制トライを許した。**自陣ゴール前ラインアウトモール防御**は今季の必須課題。ラインアウトはスクラムが弱いチームの貴重な得点源。



- 前半に先発SH岸村が肩脱臼負傷退場。選手交代時に大石コーチはSHを4回生岡田への変更を指示したがゲームキャプテンには伝わらず、急遽交代出場の1回生がSHでプレー。パス供給、FWコントロール、防御能力等に経験不足が露呈し、苦戦。大石コーチの意思を確実にチーム(ゲームキャプテン)に伝える事。SHはBKの要でもある。
- 神戸大アタックのKOの際、キッカーとChaserの戦術が共有されておらず→チームとしてKO戦術が統一されておらず、中途半端な高さや距離とポイントへのKOとなった。結果、神戸大側First Chaserがホールに追いつけず、又、敵キャッチャーを捕えられず、敵に有利なモールやラックを許す結果が多くなった。特に前半。キッカーとフェイスの連携が取れているKOであれば、ターンオーバーも可能になり、即相手陣地で戦える有力なチャンスになる。KOマシメントのチーム内共有と実行をしっかりと行う事。

➤ 戦況前半(トライ前シーンがメイン) :

- 10:33KO後に敵ノックからY1st Sに。Sは押されず。後、TFから2nd Sになるもこれも押されず耐えた。その後押されたが。
- YBS@中央から展開され、倒込みからYPK→ YLO@自G前10m→ LOモールを押込まれトライ/ゴール。 0-7 (10:40)
- 2度のYLO@自陣5mのケースを守り続けたが、YLO@自陣G前からBDを数度つなぐれトライ/ゴールされた。 0-14 (11:03)
- YBLO@センター付近からオサイド取られ、PK→YLO@自陣5mからBDサイドを突かれトライされた。 0-19 (11:11)
- KOが曖昧。近めは高すぎChaser着く前に敵が体制を固めてしまう。KOのマシメントが必要。 前半0-19

➤ 戦況後半:

- KOを深く蹴り込みTOLMBとしたがインターセプされ70m以上独走され、トライを許した。不要な失点であった。 0-5 (11:31)
- KOから敵陣でプレー。ノック→YBS@敵陣22mも押されず。その後DTからMB→サイド突きトライ/ゴール。 7-5 (11:40)
- KOからTK→YBLOをTOするもTFでYS@自陣10m → 右に展開され、抜かれトライ/ゴールされた。 7-12 (11:44)
- KOに追いつき敵にTKさせ、MLO@敵陣22m → 伊藤陸が敵BKディフェンスを抜きトライ。 12-12 (11:46)
- ハイタックルPK、ノトリPK、キック合戦等々、攻防続く。
- ノックからMBS@敵陣22mを得て、伊藤(一) → 伊藤(陸)と縦につながりトライ/ゴール。 19-12 (12:07)
- KO→TK→ YLO@センター 敵ノック → MBS@センター → FWBK一体にゴリゴリ進めてトライ/ゴール。 26-12 (12:12)

後半26-12

合計 **26-31** 2